

掘り起こそう! 「地質遺産」: 北海道地質百選募集中

Let's dig up Geoheritage : We are advertising for 100 geosites in Hokkaido!

田近 淳 [1]; 重野 聖之 [2]; 北海道地質百選検討グループ 石井 正之 [3]

Jun Tajika[1]; Kiyoyuki Shigeno[2]; Ishii Masayuki Hokkaido geosites examination group[3]

[1] 道立地質研; [2] 明治コンサルタント株式会社; [3] -

[1] Geol. Surv. Hokkaido; [2] Meiji C; [3] -

<http://www.geosites-hokkaido.org/>

北海道地質百選とは?

日本地質学会北海道支部では、2008年3月から「北海道地質百選」のリスト作りの活動を始めました。

北海道は魅力ある地形・地質の宝庫です。明治以降の北海道開拓の歴史は、地質調査と地下資源開発の歴史そのものでもありました。戦後、高度成長は経済的な豊かさをもたらすと同時に自然を改変し、北海道の環境も大きく変わりました。このような時代になって、もう一度自然本来の姿に目を向けその成り立ちを考え、同時に持続可能な発展の糧として自然を活用しようという気運が生まれています。

「北海道地質百選」の活動がめざすのは、忘れ去られた、たくさんの地形・地質・地質事象を大切な資源・資産として掘り起こして、地域の地形・地質の価値をみなさんに知っていただき、活用していただくこと、そして大切なものは保護していこうというものです。選ばれたジオサイトや候補地の中から、日本の地質百選やジオパークが生まれること、目的のひとつです。

百選の候補としては、次のようなものを考えています。

- (1) 学術的に重要な地質、地形や地質事象(露頭や岩石・鉱物・化石、噴気・噴泥・地すべりなど)。
- (2) 地域の独特な景観をつくる地形・地質(美瑛・富良野の火砕流台地、札幌の八剣山など)。
- (3) 産業活動や地域生活に結びついた地質・地形・地質事象であること(札幌軟石、旧鴻之舞鉱山5号大露頭など)。
- (4) その他「地質遺産」として科学的に意義付けられ、保存改善される必要のあるもの。

第1次選定の候補を募集中です。 - 2009年秋にはシンポジウムも

現在、地質学会北海道支部「北海道地質百選」検討グループでは「候補」のリストアップを進めています。また、これとは別に一般の方々からも「候補サイト」を募集しています。故郷の岩や渓谷、海岸に貴重なものはありませんか?北海道をフィールドとして研究されている皆さんも是非投稿をお願いします。2009年9月までには選定された第一次「北海道地質百選」を公表する予定です。それを受けて、百選の意義や、各ジオサイトの自慢話、そして活用策について考えるシンポジウムも計画しています。皆さんの投稿やご意見をお待ちしております。